熊本地震復興支援の恩恵は
新たに「熊本子ども未来プロジェクト」として
支援金を子ども達の未来に還元する

『今後のプロジェクトの方向性』

１，復興支援で開発した FunFit 運動プログラムをもとに、保育士の先生方がよりわかりやすいように研修を継続していく。

２，プログラムのノウハウが、他県や西日本豪雨人吉支援・新型コロナウイルスにより活動停止時に活かされている。その実績をもとに必要とする人たちへ役に立てるような啓発活動を実施する。

３，未来の教職員（学生）への実地研修を提供する。

「開発プログラムをもとにノウハウ提供、複合災害事業（令和４年）」

昨年度が狙いのある運動指導ができる環境を提示するのが課題であった。
対面での研修ができない、断念するのではなく「どうすれば理解しやすいか」

オンライン研修の回数とアンケート、研修後のヒアリング調査を行い、オンライン研修プログラムを改良しつつ事業を継続的に実施する。

※同時に測定をする定期的に職員が実施しているプログラムに対してフィードバックやスキルアップ研修を行う。半年後に再度測定を行い、保育士・幼稚園教諭だけで狙いのある運動指導で向上したかを研究調査する。

「益城町」と共に子どもの未来をサポートしていけるように、誰でもどこでも「心身ともに逞しく、災害時や社会に通用するような生きる力を養う」プログラムを全国で幅広く提供できる取り組みを行う。

≪内容≫

１、『幼児体育教室』+『プログラム啓発活動』

【時間】　園の正規時間内
【対象】　年長・年中・年少
【費用】　一般社団法人 Fun&Fit 予算、益城各保育予算
【回数】　各園毎月１回ずつ実施

【内容】
現地ヒアリングと先生方への運動に関する「悩み」を集約する為にアンケート調査をする。昨年度同様に研修結果と悩みアンケート調査の結果をもとに、悩みの解決につなげる運動プログラムを在園児に対して指導をし、現場で研修を行う。その後、実践に対するアンケート調査と測定を行い、保育士・幼稚園教諭だけで狙いのある運動指導ができる環境を提示して行く。

【実施日】
■令和４年３月から令和５年３月末　各園１２回　計１２０ｈ
・益城町立益城第１保育所　２ｈ×１２日
4 月 25 日　5 月 2 日　6 月 6 日　7 月 4 日　8 月 9 日　9 月 22 日
10 月 3 日　11 月 7 日　12 月 1 日　1 月 5 日　2 月 6 日　3 月 2 日

・益城町立益城第二保育所　２ｈ×１２日
4 月 11 日　5 月 9 日　6 月 13 日　7 月 11 日　8 月 4 日　9 月 12 日
10 月 17 日　11 月 14 日　12 月 5 日　1 月 27 日　2 月 2 日　3 月 6 日

・益城町立益城第三保育所　２ｈ×１２日
4 月 18 日　5 月 16 日　6 月 20 日　7 月 21 日　8 月 4 日　9 月 5 日
10 月 24 日　11 月 21 日　12 月 12 日　1 月 23 日　2 月 13 日　3 月 9 日

・益城町立益城第四保育所　２ｈ×１２日
4 月 4 日　5 月 23 日　6 月 27 日　7 月 7 日　8 月 22 日　9 月 26 日
10 月 27 日　11 月 24 日　12 月 19 日　1 月 26 日　2 月 20 日　3 月 13 日

・益城町立益城第五保育所　２ｈ×１２日
4 月 28 日　5 月 30 日　6 月 30 日　7 月 25 日　8 月 29 日　9 月 29 日
10 月 31 日　11 月 28 日　12 月 26 日　1 月 30 日　2 月 27 日　3 月 16 日

【成果】
　継続的な寄り添いから、こどもや保育士、今年度は「保護者」との信頼関係を築けることができた。保護者参観や当団体だよりを配布することができたからだと考える。また保護者からの「お子様の現状（体力等）」アンケートも収集することができた。保育士や保護者がお家でもできる「幼児期に身に付けてほしい 36 の基本動作（仮）」を提供することができた。

【課題】

一方的なやり取りであるため「必要と感じているのか」が見えづらい。
今後もアンケート収集を行いニーズ調査する。

２、『オンライン研修』+『プログラム啓発活動』

【時間】　園の正規時間内
【対象】　県内保育園・幼稚園の保育士
【費用】　一般社団法人 Fun&Fit 予算、各研修依頼予算
【回数】　研修・アンケート調査　１セットで実践
【内容】
　研究をもとに開発した「FunFit オリジナル運動プログラム」をオンラインでも通用する「幼児期に身に付けてほしい 36 の基本動作（仮)」の体験型研修を提供する
【実施日】
　6 月 5 日、7 月 5 日、11 月 4 日、3 月 7 日

【成果】
　モニター越しに聞いて参加するのではなく「体感スタイル」体験型の研修を導入することで理解力が高まった。動画を録画できるため見返せるメリットがある。また身近なもので誰でもできることから高評価であった
【課題】
オンライン研修が普及しているが「タイムラグ」参加人数によっては「参加側の反応」がわかりにくい。研修後のフォローも実施していく

３、『複合災害事業-複合災害に備えて防災サバイバルキャンプ - 』

【対象】　年長から大学生
【費用】　一般社団法人 Fun&Fit 予算、子どもゆめ基金助成金
【回数】　4 回実施
【内容】

各プログラム専門の講師を招き、災害時に活用できる工夫・知識を体験し、防災グッツやクッキングを学んだ。ライフラインや物がない状況を仮定し子供達で考え問題解決を行う事で、不便でも考える力を養い、対応できる「生きる力」を育む事を狙いとした。また問題を発見し自ら進んで動く（主体性）も重視し、自然と力を身に付ける。また医師や看護師を招き「感染症」夏季のマスク着用による「熱中症」の対策についてもお話いただき、防災だけでなく「複合災害」に対応できる力を身に付ける事を目的とした。

【実施】
7 月 18 日 19 日、10 月 9 日 10 日、1 月 28 日 29 日、3 月 29 日 30 日
【成果】

身近にあるもので災害時に何ができるかを、楽しみながら体感する事ができた。多くのプログラムで、身近な物を使い不便ながらも「考え・工夫」することでプログラム外の時間も、考え行動することができるようになった。

水辺に関して自然の楽しさ、危険さの両面を知ることができた。水辺状況を観察し適応・順応しながら安全にプログラムを行え、自然相手の災害で適応・順応する「生きる力」を得る事ができた。自然のみでなく、感染症対策といった複合災害も正しい知識を元に自ら考え、仲間と共に実践できた。

【課題】

防災は多くの人が知り、実践できてこそ意味があるものとなる。その為今後は現在の事業を継続して行い、多くの子供に経験してもらいたい。また本活動を更に拡散すべく、大人向けの防災サバイバルキャンプを行い「防災」「感染症対策」「SDGs」を伝える事の出来る指導者の育成を行いたいと考える。そうすることで、熊本地震を経験した私たちから発信した防災サバイバルキャンプを伝える事ができる。

その他には地域の行政や企業など関心のある団体が多い為、現在のプログラムに加え地域行政、企業と一緒に行うことで更なる宣伝や山でのサバイバルや年間の回数を増やすなど協力できる行政、企業に合わせた展開を行っていけるのではないかと考える。

新型感染症と複合災害への備えを学ぼう!!

「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風をおこそう

防災サバイバルキャンプ

4 SEASON's -フォーシーズンズ-

7月 17日(日)▶18日(月) 2022 夏

活動場所
- 鎌松原海水浴場（玉名市岱明町鎌2320-56）
- 岱明B&G（玉名市岱明町中土590）

宿泊施設
- 小天オレンジテラス（玉名市天水町小天2012）

10月 9日(日)▶10日(月) 2022 秋

活動場所
- 亀門ダム斑蛇口湖ボート場（菊池市斑蛇口525-5）

宿泊施設
- 千畳河原/うぶとも農園（菊池市重味1515）

1月 28日(土)▶29日(日) 冬 2023

活動場所
- 鞍岳山/千畳河原（菊池市重味1515）

宿泊施設
- FunFitツリーハウス（菊池市旭志麻宇馬興場1210）

3月 29日(水)▶30日(木) 春 2023

活動場所
- 湯島海水浴場（上天草市大矢野湯島）

宿泊施設
- 湯島学習センター（上天草市大矢野湯島655-3）

防災キャンプでは、アウトドアの様々な技や知識を学び、災害時に生き抜く技を身に付けることができます。また、みんなで協力して課題を解決する力もつけられます。季節ごとに変わるアクティビティの体験を通じて、「生きる力」を身につけましょう!

- ■参加費：13,500円
- ■対　象：年中～高校生
- ■定　員：30名限定
- ■主　催：一般社団法人 FUN&FIT
- ■共　催：NPO法人 SDGs Association 熊本
- ■送迎可能：希望者はご連絡ください

FUN&FIT

Instagram　お申し込みフォーム　公式LINE@

お申し込みはこちら!

TEL:090-1516-6802

(担当：オガタ)

防災サバイバルキャンプ

4 SEASON's -フォーシーズンズ-

1日目

10:00	開会式、公衆衛生 目標決め、レクリエーション
11:00	スポーツアクティビティ ※時期で変更 夏→バルクール、サップ、シーカヤック 秋→サップ、カヤック、遊覧船、モルック 冬→トレッキング 春→島探検ハイキング（釣り、磯遊び）
12:30	昼食
13:30	スポーツアクティビティ ※午前中の続き
16:00	移動、テント設営
17:30	防災アウトドアクッキング 夏→ペットボトルピザ 秋→ロケットストーブカレー 冬→ロケットストーブシチュー 春→釣った魚で調理 （刺身、フライ、パエリア等）
19:30	夕食
20:30	スターウォッチング ナイトウォークラリー
21:30	1日の振返り、就寝

2日目

6:30	起床、体調チェック 防災アウトドアクッキング カートンドック、スープ お弁当づくり
8:30	朝食
9:30	魚釣り/クラフトづくり
12:30	昼食
13:30	魚釣り
14:30	キャンプの振り返り
15:00	閉会式、解散

感染症対策として

- ■活動時マスク着用
- ■テント泊は少人数でわける
- ■アルコール消毒液を設置
- ■咳エチケット、手洗い、検温実施
- ■室内プログラムは、こまめに窓を開放し、換気を行う

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS　私たちはSDGsを支援しています

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 14 海の豊かさを守ろう
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう

この活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。提出された個人情報（写真）は、「（独）国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

開発プログラム啓発事業（令和５年度）

継続的な支援先「NIPPON IT チャリティー駅伝実行委員会の勝見様と下川様」とこれまでの支援や事業、今後の展開をお話しすることができた。それをもとに「益城町」と共に子どもの未来をサポートしていけるように、誰でもどこでも「心身ともに逞しく、災害時や社会に通用するような生きる力を養う」プログラムを全国で幅広く提供できる取り組みを行う。

≪内容≫
『幼児体育教室』+『オンライン研修』+『プログラム啓発活動』
【時間】　園の正規時間内
【対象】　年長・年中・年少
【費用】　NIPPON IT チャリティー駅伝実行委員会　（東京）
　　一般社団法人 Fun&Fit 予算、益城各保育予算
【回数】　各園毎月１回ずつ実施
【実施園】令和５年４月から令和６年３月末　各園１２回　計１２０ｈ
・益城町立益城第１保育所　２ｈ×１２日

・益城町立益城第二保育所　２ｈ×１２日

・益城町立益城第三保育所　２ｈ×１２日

・益城町立益城第四保育所　２ｈ×１２日

・益城町立益城第五保育所　２ｈ×１２日

※各園での研修を実施し、活動終了時に報告をする